

## [相模原散策マップ 新磯北部・南部ルート] について

○この散策マップ（新磯北部ルート・南部ルート）は、相模原市の南西部に位置し、相模川に接する新磯地区をフィールドワークするに当たって、参考としていただくために作成したものです。相模原市立博物館で結成された市民の会である「民俗調査会A」が実際にフィールドワークを行って作成しました。

なお、今回の散策マップに掲載した情報は、平成24年（2012）3月段階のものであり、今後、変更される可能性があります。

○主な交通機関は次の通りです。

### [電車]・JR相模線

下溝駅 橋本駅から約20分 海老名駅から約10分

相武台下駅 海老名駅から約5分 橋本駅から約25分

### [バス]・神奈川中央交通

小田急線相武台前駅～磯部行き（相武台下駅経由）

小田急線相武台前駅～相模線原当麻駅（下溝経由）

\*電車・バス（特に相武台前駅～原当麻駅間）は本数が少ないので、事前に時間をお調べの上、ご利用ください。また、地域内に飲食店は少ないのでご注意ください。

○散策マップ掲載の諸施設情報

### [史跡勝坂遺跡公園（北部ルート）]

開園日：水～日曜日（12月29日～1月3日を除く）

開館時間：午前9時～午後4時 見学無料

\*上記は管理棟等に関わるものです。公園内の入園や復元住居外観の見学は常時できます。

### [旧中村家住宅（北部ルート）]

開館日：木～日曜日（12月29日～1月7日を除く。休館日は外観のみ観覧可能）

開館時間：午前9時30分～午後4時 見学無料

\*公開時にも、式台の間と茶の間以外は見学できません。

### [相模原市磯部民俗資料館（北部ルート）]

開館日：土・日曜日（12月29日～1月7日を除く）

開館時間：午前10時～午後3時 見学無料

[さがみ野夢工房 ふっくら (南部ルート)]

営業日：土・日曜日 (年末年始を除く)

営業時間：午前9時頃～午後4時頃

\* 自家製の酒まんじゅうや赤飯のほか、日曜日は地場産の野菜なども販売しています。

[相模の大凧センター (南部ルート)]

開館日 年末年始や施設管理日を除く毎日

開館時間：午前9時～午後6時 見学無料

\* 「れんげの里あらいそ」に併設。

#### ○地域の主なイベント情報

[芝ざくらまつり] (4月)

相模川左岸の堤防に続く通称「芝ざくらライン」は約1400mもの長さを誇ります。

[相模の大凧まつり] (5月4・5日)

新磯の各地区(新戸・上磯部・下磯部・勝坂)がそれぞれ勇壮に大凧を揚げます。

[相模川の帆かけ舟・復元実演会] (8月第一日曜日)

磯部民俗資料保存会によって、かつての相模川での帆かけ舟の復元実演が行われます。

[ざる菊] (10月～11月)

ざるを下向きに置いたような「ざる菊」が数百株咲き揃います。

\* 実施期間(特に花の開花状況)や関連事業等はその年によって異なりますので、ご確認の上、お出かけください。

○車など、交通安全にお気をつけてお歩きください。管理者の方や近隣の皆様のご迷惑にならないよう、マナーには充分ご配慮いただきますようお願い致します。

## 「新磯北部ルート」参考資料

- ①下溝駅 昭和6年(1931)の厚木～橋本間開通に伴い、同名の駅として開業した。
- ②大盛橋 鳩川が道保川と合流する地点のやや上側に架かる橋で、その先の泉橋は道保川に架かっている。泉橋から進んだ道保川緑地からは、右手に鳩川隋道分水路(元の鳩川分水路)が見える。
- ③磯部八幡宮 旧新磯村の村社で現在は上磯部地区の鎮守。祭日は9月5日。江戸時代には仏像院という別当寺があり、護摩が焚かれ、火渡りや相撲が行われた。なお、不動明王坐像は3月28日に開扉される。
- ④史跡勝坂遺跡公園 約5000年前の縄文時代中期の大集落跡で、同期の代表的な遺跡として国の史跡に指定されている。また、段丘崖の下には相模国の延喜式内社の一つである海老名市の有鹿神社の奥宮がある。
- ⑤勝源寺 曹洞宗。本堂内にある青面金剛像は「六本庚申」と称され、磯部地区には六本庚申の信仰に関わる明治5年(1872)4月に造立された同型の庚申塔が数か所に渡って80基以上見られる。\*通常、一般公開はしていません。
- ⑥石楯尾神社 磯部・勝坂地区の鎮守で、9月の敬老の日に祭礼が行われる。江戸時代までは羽黒権現社であったが、明治初めに現社名になった。
- ⑦勝坂式土器発見の地 装飾的な文様や顔面把手)を持つ縄文時代中期の勝坂式土器は、この地で大正15年(1926)に日本で初めて発掘された。
- ⑧旧中村家住宅 主屋は二階が洋風、一階は和風の要素でまとめられ、全国的にも珍しい幕末期の和洋折衷住宅(国登録有形文化財)。長屋門も主屋と同時期に建設されたと推定される。\*式台の間と茶の間以外は見学できません。
- \*三番叟の庚申塔 勝源寺の六本庚申の信仰に関わる庚申塔のうち、他と違って大きなものが二基ある中の一つで、台座に三番叟を踊る三猿が彫られている。また、道路の向かい側には34基もの庚申塔が並んでいる。
- ⑨もんや稲荷 バス折り返し所の一角にあり、この場所にあった大家の屋敷の稲荷という。  
\*大山道標 上磯部～下磯部集落のほぼ中央を通る道が大山道で、「右大山道」と書かれた大山道標が相模川を渡る磯部の渡し場の方向を示している。なお、この道標の北側数百m先には元治2年(1865)の不動像の大山道標がある。
- ⑩能徳寺 曹洞宗。中世にあったとされる磯部城は、近くの御嶽神社かあるいはこの付近にあったとも推測されているが詳しい場所などは不明。なお、磯部城の附属施設の土塁の可能性が考えられるものが相模川沿いの一角にある。
- ⑪⑫磯部頭首工 相模川左岸用水路の取水口で、その水は茅ヶ崎方面の水田にまで使われている。江戸時代には磯部から座間までの五か村用水の取水口であった。
- \*磯部民俗資料館 相模原市磯部民俗資料保存会が運営する施設で、地域に残されてきた民具をはじめ、行事などの古写真を保管・展示する。\*土日曜のみ開館。
- ⑬三段の滝・⑭新三段の滝 相模川左岸用排水改良事業として、鳩川分水路から分水した大半の鳩川の水は、昭和8年(1933)完成の三段の滝から相模川に放水された(昭和63年[1988]には隣りに新三段の滝を新設)。その後、用水幹線の工事を行って15年(1940)に頭首工が竣工した。

## 「新磯南部ルート」参考資料

- ①相武台下駅 昭和6年(1931)の厚木～橋本間開通に伴い、「座間新戸駅」として開業。昭和15年(1940)に現在の駅名に改称した。
- ②長松寺 曹洞宗。応永3年(1396)の鎌倉公方であった足利氏満による土地などの寄進状(市指定有形文化財)を保管する。\*非公開です。
- ③白山姫神社 ⑬日枝神社とともに旧新戸村の鎮守の神社。祭礼は4月17日前後の日曜日に行われる。
- ④陣屋小路 徳川家康に仕え、江戸時代初期にこの地を治めていた内藤清成の陣屋があったと伝え、小路の一角には「陣屋稲荷」が祀られている。
- ⑤さがみ野夢工房ふっくら 酒まんじゅうや赤飯などを販売する。\*土日のみ営業。
- ⑥諏訪神社 江戸時代末に、新戸村の山谷講中が信州の諏訪大社から分霊して創建したとされる。
- ⑦新戸一里塚 新戸から町田市木曾・小野路をって武蔵府中に至る府中道沿いにあり、元和3年(1617)に家康の棺を日光に改葬した際に築かれたと伝える。
- ⑧新戸公園 キャンプ座間に隣接する。
- ⑨旧新磯高校(新戸遺跡) 現在は廃校。高校建設時の発掘調査で、縄文時代の集落のほかに市内では珍しい中世期の農村集落跡が発掘された。
- ⑩六字名号塔 文政5年(1822)の造立で、当麻山無量光寺の五十二代霊随上人ゆかりのものと考えられる。
- ⑪山の神社 磯部の上の原地区にあり、鳥居や灯籠のほか、いくつかの表忠碑などが建てられている。
- ⑫日枝神社 下磯部では全体で⑭御嶽神社を祀り、さらに東地区でこの神社を祀る。四ツ谷地区でも別に日枝神社を祀り、4月の同じ日に祭礼を行う。
- ⑬薬師堂・不動尊 薬師堂は500年前からあると伝え、下磯部の東地区で管理している。堂前の不動塔は大山不動で、毎年、伊勢原市の大山から御札を受けてくる。
- ⑭御嶽神社 下磯部全体の鎮守で、9月1日が祭礼。中世にあったとされる磯部城はこの付近にあったとも推測されているが詳しい場所などは不明。
- ⑮新磯小学校 明治中期に作成された、榎本武揚書といわれる木扁額(市登録有形文化財)がある。\*学校内のため原則として見学できません。
- ⑯相模の大凧センター 「れんげの里あらいそ」内にあり、相模の大凧の歴史等を展示ホールで紹介するほか、大凧揚げ文化を保存・継承する活動を実施する。
- ⑰常福寺 臨済宗。鎌倉仏師として知られた、後藤四郎兵衛藤原義貴の作である地藏菩薩立像などを保管する。\*非公開です。
- ⑱日枝神社 ③白山姫神社とともに旧新戸村の鎮守で、8月26日付近の土曜日が祭礼。境内の「第六天社」はキャンプ座間地内にあったが再建された。
- ⑲妙眞橋 鳩川に架かる橋にもいくつかの言い伝えが残るものがある。
- ⑳掲示場跡 明治初めに政府の法令等を掲示した場所で、地元では「ゴハンギョウ」と呼ばれていた。江戸時代には幕府の命令などを記した高札が掲げられた。